

冬の沼尻高原スノーシューハイクの報告

2月17日（水）沼尻高原スノーシューハイク

三春町の仮設住宅等にお住まいの富岡町と葛尾村の方 36名の方をお誘いした、

前日降った雪で思いがけずに素晴らしい雪景色に感激、新雪の中ロッジ周辺を久しぶり会った仲間とおしゃべりしながら2時間ほど歩き帰館、昼食は持参のお弁当にロッジ提供のけんちん汁、美味しかったです。俳句を書いていた、温泉に入り、郡山からいらした林万里子さんのピアノで清々しい気持のなり一句。今回はさらに「とらや」さん差し入れの羊羹をご馳走になりました。



3月14日（月） 沼尻高原スノーシューハイク

今回は大熊町の方で、いわき市と合津若松で避難されている方 23人と HAT-J 5人です、昨日は土が見えていましたが、早朝から雪が降り大熊の方が到着したころは風なしのまるで眺めた舞台のような風景になっていました。沼尻スキー学校の前から女坂をゆっくりのぼり、スキー場の脇を通り、集落が眼下に見える高台へ、道祖神が祀ってありました。



2時間ほど歩きロッジに戻り、温泉に入り、持参のお弁当にロッジの具たくさんのとん汁がつきました。林万里子さんのピアノ演奏をきき、「とらや」さん提供のお汁粉をいただきました。大熊町はだいぶ移動があり、今回でこのハイキングに参加できなくなると、さびしそうに話していた人がいました。次回から誘い方の方法を考えましようと、社共の方が話していらした。